

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN 2013-2014 WEEKLY REPORT

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 白藤 憲雄 ■幹事 / 本多 利郎 ■会報・雑誌・広報委員長 / 安藤 修
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

2013-14年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン

第1083回

2014年3月11日(火) 晴 第31回

～識字率向上月間～世界ローターアクト週間(3/13を含む1週間)

斉唱 我等の生業
出席 会員56名(出席率算入人数49名)
出席43名 出席率87.76%
前々回補填率93.75%(2月25日分)
ゲスト 米山奨学生 林 怡伶さん
ビジター あまRC 中村 晋一さん

3月の結婚記念日

2日 川村 繁生さん 5日 江松 央統さん
11日 坂田 信子さん 12日 山本 誠一さん
13日 細井 俊男さん 20日 三浦 隆さん
28日 杉山 隆秀さん

会長あいさつ

会長 白藤 憲雄さん

ビジターでお越しのあまRCの中村さん、ようこそお越しくださいました。ごゆっくりとご歓談ください。

米山奨学生の林さん、後ほど卓話を宜しく願います。本日が最後かと思いますが、この先も大いに頑張って活躍していただきたいと思います。

先程もお話にありましたが今日は3月11日です。3年前を思い出します。日本周辺における観測史上最大の震災でした。今朝調べたところ死者は15,786人でした。まだまだ見つからない行方不明の方も沢山いらっしゃいます。津波の高さは10m以上で最大40.1mに達しているところもあったようです。災害は来ないに越したことはありませんが、来た時に一番に何をすべきかという、テレビの教訓として「災害時は逃げるが一番」だそうです。このことを覚えておくといいと思います。以上で本日の会長あいさつとさせていただきます。



ニコボックス

- ◆ 林怡伶さんの卓話を楽しみにしています。
- ◆ 死者、行方不明者18,500人を出した東日本大震災から今日で丸3年が過ぎました。犠牲者の皆様のご冥福を心よりお祈りいたします。

田子 充浩さん 細井 俊男さん 佐々木 暢さん
白藤 憲雄さん 川瀬 悟さん 川村 繁生さん
児島 徳和さん 江松 央統さん 伊藤 圭一さん
中村 勝さん 加藤 英敏さん 鈴木 清詞さん
東山 直史さん 三浦 隆さん 田中 一雄さん
加藤 宜之さん 浅井 浩さん 鈴井 一博さん
入谷 直行さん 長尾 浅吉さん 猪村 美之さん
武藤 正行さん 木下 福郎さん 大橋 さなえさん
坂本 晃さん 新原 尚さん 児島 徳和さん
鈴木 享さん 犬飼りさ枝さん 三島多恵子さん
本多 利郎さん 川辺 清次さん 有川 英敏さん
朝比美和子さん 大平 明子さん 久米 伸治さん

本日合計 44,000円 累計 999,000円

アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

米山奨学生卓話

■卓話者紹介 カウンセラー 三島多恵子さん
皆さま、こんばんは。先日奨学生の修了式がありましてリンさんと二人で行って来ました。彼女と出会って10ヶ月、本当に明るくて楽しくて自然体の良い子でした。もう少ししたらリンさんが学士になりますが、その論文をほんの少し皆さまにお話したいとの事なので、お聞きください。宜しく願います。

■米山奨学生 林 怡伶さん
リンです。宜しく願います。今回の卓話のテーマをととても迷いましたが、今私が研究している内容を分かってもらいたいのので決めました。

テーマとしては「組合せ論」です。例えば、お互い知らない同士の7人がいてあるツアーに参加しました。山の方だとバスも不便だしタクシーは運転手も含めて5人しか乗れない為3人ずつ乗ると仮定します。どの人とも組合せになり最も少ない回数で3人乗るにはどうすれば良いでしょう。7人で3人組の組合せを作るには35通りあります。組合せによっては最少7回だけでいいです。このような組み合わせというのは、有限集合があると仮定して何人組にするかという条件を付けます。バランス良い条件が満たす事が組合せデザインの特徴です。



組合せ論は離散数学の分野で、ある特定の条件を満たす組合せ、構造、存在問題、構成の研究です。存在問題というのは数学だと証明できない問題を証明することです。この分野ですごく有名なターデザインは、有限集合があって部分集合（ブロック）がある条件を満たす時に言います。このような理論は1980年代から流行ってきましたが、今までに分かっている理論は少ないです。なぜなら、沢山の数の理論を探すのはとても難しいことだからです。

もう一つの組み合わせの構造をターモードと言います。組合せ論は元々、統計的な治験数を減らすために生まれました。今は副理論や暗号理論、通信方面の分野でも応用されています。

今紹介したお話は私が修士の時に研究した内容ですが、今はこの組合せデザインを用いて副理論（衝突回避起伏論）を研究しています。例えば、今携帯電話も色々あり、みんながかなりの数の通信をしています。でも必ず通信が集まる場所があります。時々情報がぶつかったり間違ったりすることもありますので、どうやって通信して衝突を減らすかという理論は日本語だと「3衝突回避起伏理論」と言います。私は今これに関する論文を書いています。

少し解りづらかったかもしれませんが、以上で私のお話とさせていただきます。ありがとうございます。



第 1085 回例会 (3月29日) のご案内

春の家族会 於：「栗田山荘」

8：45 京都駅新幹線八条口改札前集合